

調査レポート

アジア経済概況(2013年9・10月)

【目次】

. 中華圏・韓国

- 1. 中国経済の概況・・・7-9月期のGDP成長率は前年比7.8%に加速…………… p.1
- 2. 中国の主要指標解説:生産者物価の推移…………… p.3
- 3. 台湾経済の概況・・・7-9月期のGDP成長率は前年比1.6%に減速…………… p.4
- 4. 韓国経済の概況・・・7-9月期のGDP成長率は前年比3.3%に加速…………… p.5

. ASEAN・インド

- 1. タイ経済の概況・・・景気の拡大が一服している…………… p.6
- 2. インドネシア経済の概況・・・7-9月期の成長率は前年比5.6%に減速…………… p.7
- 3. マレーシア・フィリピン・シンガポールの主要経済指標…………… p.8
- 4. ベトナム経済の概況・・・1-9月期の成長率は前年比5.1%とやや持ち直す…………… p.9
- 5. インド経済の概況・・・内外需の低迷から低成長が続く…………… p.10

- . アジア通貨・株価動向…………… p.11

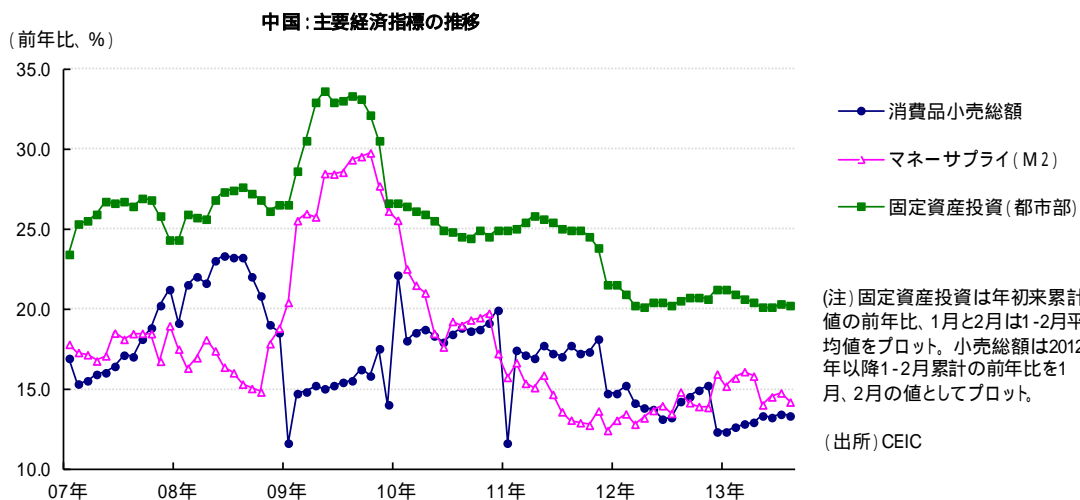
三菱UFJリサーチ & コンサルティング株式会社

調査部 研究員 野田 麻里子
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2
TEL:03-6733-1070

・ 中華圏・韓国

1. 中国経済の概況

- ・ 緩やかなペースで景気回復が続いている。
- ・ 7-9月期の実質 GDP 成長率は前年比 7.8%と前期（同 7.5%）から加速した。また、1-9月期ベースでは前年比 7.7%と政府の今年の成長率目標（7.5%前後）を 0.2%ポイント上回っており、このままのペースが続けば目標達成は可能とみられている。
- ・ 需要項目別の寄与度をみると、消費（1-6月期 3.4% 1-9月期 3.5%）の寄与度はほぼ同水準で推移し、純輸出（同 0.1% 同 0.1%）の寄与度がマイナスに転じる一方で、投資の寄与度が同 4.1% 同 4.3%と拡大し、成長率を押し上げている。政府は輸出・投資・消費の3つのバランスが取れた成長モデルへの移行を目指しているが、足元はむしろ投資主導の成長モデルに逆戻りした格好となっている。
- ・ 10月の製造業購買担当者指数（PMI）は 51.4 と前月（51.1）から 0.3ポイント上昇した。景気の拡大と縮小の分岐点である 50ポイントを13ヶ月連続で上回っており、緩やかながらも景気回復が続いていることが示唆されている。ただし、回復が依然として大企業に偏っており、小規模企業の振興が課題となっている。
- ・ 7-9月の小売売上は前年比 13.3%増と4-6月期の同 13.0%増からやや持ち直したものの、依然として昨年同年の同 14.2%増に比べて低い伸び率にとどまっている。また、固定資産投資は前年比 2割増のペースは維持しているものの、1-6月期同 20.1%増から1-9月期同 20.2%増とほぼ横ばいにとどまっている。鉱工業生産は1-6月期同 9.3%増から1-9月期同 9.6%増と持ち直している。
- ・ 9月の消費者物価上昇率は食品価格の上昇（前年比 6.1%）により同 3.1%と今年2月以来7ヶ月ぶりに3%を上回ったが、引き続き今年目標水準（前年比 3.5%前後）は下回っている。一方、9月の生産者物価は前年比 1.3%と前年比マイナスが続いている。



【中国・香港の主要経済指標】

			2010年	2011年	2012年	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/8月	13/9月	13/10月
中国	GDP	実質GDP成長率	前期比%				2.0	1.9	1.5	1.9	2.2		
			前年比%				7.4	7.9	7.7	7.5	7.8		
		(累計ベース)	前年比%	10.4	9.3	7.7	7.6	7.7	7.7	7.6	7.7		
		名目GDP成長率(累計ベース)	前年比%	17.8	17.8	9.7	9.7	9.7	9.6	8.8	9.4		
	消費	社会消費品小売総額	前年比%	18.4	17.1	14.2	13.8	14.5	12.4	13.0	13.3	13.4	13.3
		うち市(都市部)	前年比%	18.8	17.2	14.2	13.9	14.5	12.2	12.7	13.0	13.1	13.1
		うち県(農村部)	前年比%	16.2	16.6	14.5	13.4	14.6	14.0	14.6	15.0	15.1	14.8
		自動車販売台数	前年比%	32.4	2.5	4.3	4.4	6.9	13.1	11.4	13.6	10.3	19.7
		うち乗用車(セグ、SUV他)	前年比%	33.2	5.2	7.1	6.7	7.4	17.2	10.4	14.5	11.0	21.1
		消費者自信指数	期中平均	105.5	103.3	102.4	99.5	105.0	105.1	99.9	98.3	97.8	99.8
		消費者期待指数	期中平均	105.8	106.6	106.9	103.1	108.8	110.4	103.8	102.0	101.6	103.5
	投資	固定資産投資(都市部・500万元以上;年初来累計)	前年比%	24.5	23.8	20.6	20.5	20.6	20.9	20.1	20.2	20.3	20.2
		うち不動産・居住用建物	前年比%	33.5	29.7	22.1	21.1	22.1	24.1	22.9	21.0	21.3	21.0
		うち国内企業	前年比%	25.6	24.7	21.2	21.2	21.2	21.7	21.3	21.0	21.4	21.0
		うち製造業	前年比%	27.0	31.8	22.0	23.5	22.0	18.7	17.1	18.5	17.9	18.5
		うち鉄鋼	前年比%	6.1	14.6	2.0	3.9	2.0	7.7	3.3	2.6	2.3	2.6
		うち輸送機械(自動車)	前年比%	31.7	27.2	32.8	34.5	32.8	15.3	14.4	15.4	16.7	15.4
		うち電気機械	前年比%	40.4	44.6	4.8	7.0	4.8	5.5	5.9	8.5	7.7	8.5
		うち情報通信機器	前年比%	48.2	34.2	12.9	14.8	12.9	19.7	22.4	21.7	21.2	21.7
		直接投資契約件数(累計ベース)	前年比%	16.9	1.1	10.1	11.7	10.1	10.4	9.2	9.3	8.2	9.3
直接投資実行額(累計ベース)		前年比%	22.0	8.1	2.3	3.8	2.3	1.4	4.9	6.2	6.4	6.2	
不動産景気指数		期中平均	104.3	101.6	95.6	94.5	95.3	97.7	97.3	97.3	97.3	97.3	
貿易及び外貨準備		貿易収支	10億ドル	181.5	154.9	230.3	79.5	83.3	43.5	65.7	61.5	28.5	15.2
	輸出(ドルベース)	前年比%	31.3	20.3	7.9	4.5	9.4	18.3	3.7	3.9	7.1	0.4	5.6
	輸入(ドルベース)	前年比%	38.8	24.9	4.3	1.6	2.7	8.5	5.0	8.4	7.1	7.4	7.5
	対米貿易収支	10億ドル	181.2	202.3	218.9	61.4	58.1	41.0	51.5	60.3	20.3	20.8	22.9
	対日貿易収支	10億ドル	55.7	46.3	26.2	9.0	2.4	1.0	4.3	5.2	2.0	0.8	0.1
	外貨準備	期末10億ドル	2847.3	3181.1	3311.6	3285.1	3311.6	3442.6	3496.7	3662.7	3553.0	3662.7	
生産	鉱工業付加価値額(累計ベース)	前年比%	15.7	13.9	10.0	10.0	10.0	9.5	9.3	9.6	9.5	9.6	
	うち国有企業	前年比%	13.7	9.9	6.4	6.3	6.4	5.2	5.2	6.3	6.1	6.3	
	うち株式会社企業	前年比%	16.8	15.8	11.8	11.8	11.8	11.3	10.9	11.0	11.0	11.0	
	うち外商・港台企業	前年比%	14.5	10.4	6.3	6.0	6.3	6.9	7.4	7.9	7.7	7.9	
	発電量	前年比%	14.0	10.9	4.2	2.1	7.4	4.2	6.9	11.6	14.0	10.3	
	製造業購買担当者指数(PMI)	%	53.8	51.4	50.8	49.7	50.5	50.5	50.5	50.8	51.0	51.1	51.4
	うち新規受注	%	55.8	51.9	50.9	49.2	50.9	51.3	51.3	51.9	52.4	52.8	52.5
うち雇用	%	51.8	50.2	49.4	49.2	49.0	48.4	48.8	49.2	49.3	49.1	49.2	
新規輸出受注	%	52.8	50.0	49.3	47.3	49.8	48.9	48.6	50.0	50.2	50.7	50.4	
所得	都市一人当り所得(累計ベース)	前年比%	11.5	14.0	12.4	12.9	12.4	8.6	9.0	9.3			
	労働力市場求人倍率	期末	1.01	1.04	1.08	1.05	1.08	1.10	1.07	1.08			
	第二次産業/全産業求人比率	期末%	34.5	40.4	40.8	38.9	40.8	43.4	41.8	40.9			
物価	消費者物価指数	前年比%	3.3	5.4	2.7	1.9	2.1	2.4	2.4	2.8	2.6	3.1	
	うち食品	前年比%	7.2	11.8	4.9	2.8	3.0	3.9	4.0	5.3	4.7	6.1	
	うち家庭設備・家庭用品	前年比%	0.0	2.4	1.9	1.8	1.6	1.6	1.6	1.4	1.4	1.4	
	生産者物価指数	前年比%	5.5	6.1	1.7	3.3	2.3	1.7	2.7	1.7	1.6	1.3	
金融	マネーサプライ(M2)	前年比%	19.7	13.6	13.8	14.8	13.8	15.7	14.0	14.2	14.7	14.2	
	インターバンク金利(翌日物)	期中平均%	1.67	3.14	2.80	2.73	2.50	2.34	3.87	3.26	3.23	3.22	3.62
	株価指数(上海総合)	期末	2,808	2,199	2,269	2,086	2,269	2,237	1,979	2,175	2,098	2,175	2,142
	為替レート(元/ドル)	期中平均	6.77	6.46	6.31	6.33	6.30	6.28	6.21	6.17	6.17	6.16	6.14
	為替レート(円/元)	期中平均	12.9	12.3	12.6	12.4	12.9	14.7	15.9	16.1	15.9	16.1	16.0
香港	GDP	実質GDP成長率	前年比%	6.8	4.9	1.5	1.5	2.8	2.9	3.3			
		うち民間消費	前年比%	6.1	8.4	3.0	1.5	2.7	6.3	4.2			
		うち固定資本形成	前年比%	7.7	10.2	9.4	8.2	11.4	3.3	6.9			
		名目GDP成長率	前年比%	7.1	9.0	5.5	5.8	7.3	4.3	4.0			
	消費	小売販売数量指数	前年比%	15.6	18.5	7.1	4.2	6.4	14.0	14.9	7.4	7.9	4.6
		貿易	貿易収支	10港HKドル	335	426	478	121	135	111	137	119	40
		輸出(香港ドルベース)	前年比%	22.7	10.2	2.9	3.8	7.0	3.9	2.4	3.3	1.3	1.5
		輸入(香港ドルベース)	前年比%	25.0	11.9	3.9	4.5	8.1	4.9	3.5	2.7	0.2	0.4
	物価	消費者物価指数	前年比%	2.3	5.3	4.1	3.1	3.8	3.7	4.0	5.3	4.5	4.6
	金融	マネーサプライ(M3)	期末%	5.3	12.8	10.3	9.0	10.6	10.6	11.5	12.1	11.3	13.4
	ハンセン指数	期末ポイント	23,035	18,434	22,657	20,840	22,657	22,300	20,803	22,860	21,731	22,860	23,206

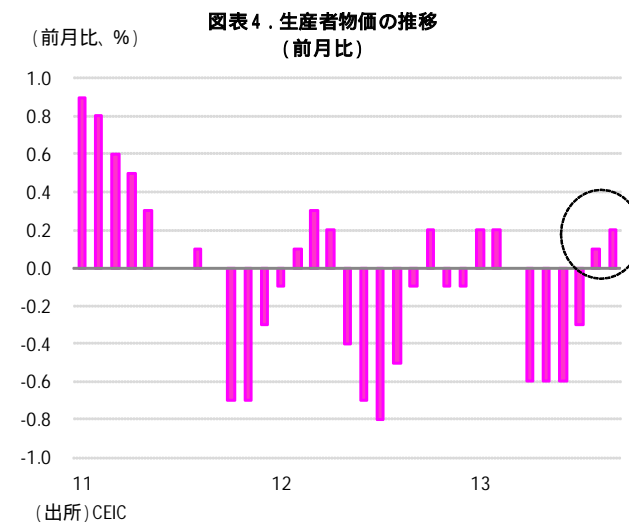
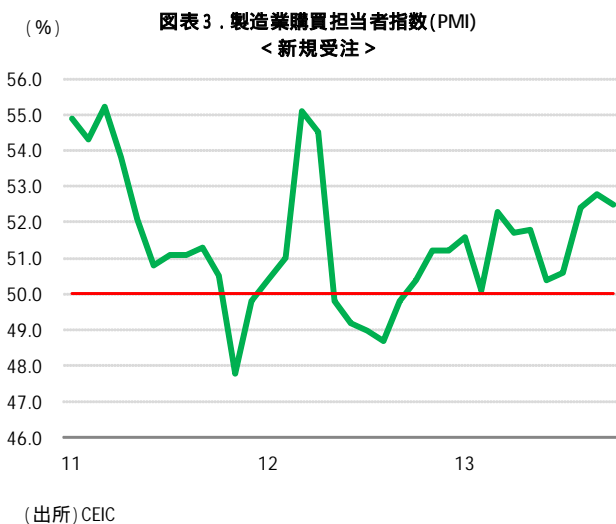
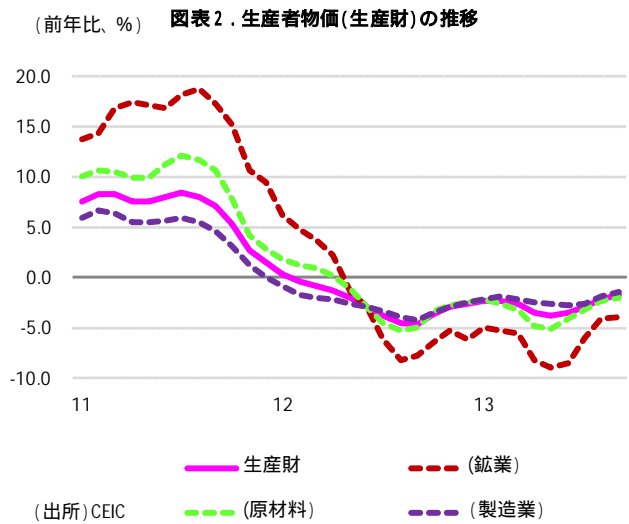
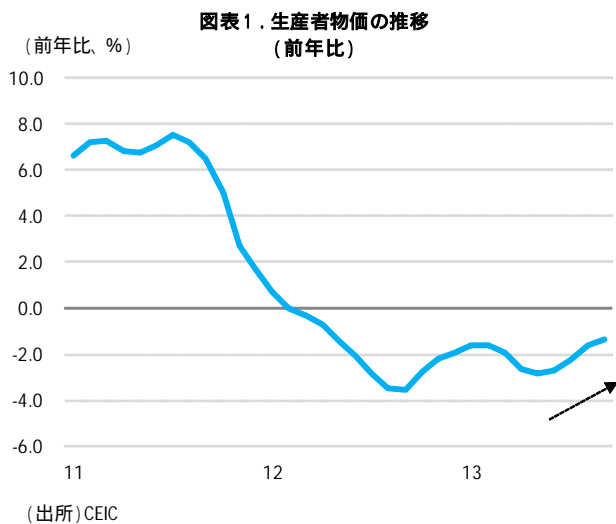
(出所)CEIC (注)小売総額の内訳は2010年以降、上段(都市部)、下段(農村部)。固定資産投資統計の基準は2011年以降50万円から500万円に変更。

2. 中国の主要指標解説：生産者物価の動向

このところ中国の消費者物価と生産者物価は対照的な動きをしている。消費者物価が食品価格の上昇を主因に9月には前年比3.1%に加速したのに対し、生産者物価は依然として前年比マイナスで推移している（9月同 1.3%）。

しかし、足元、生産者物価のマイナス幅は徐々に縮小している（図表1）。これは在庫が積みあがっていたといわれた鋼材、輸出不振の影響を受けていると見られる部品などの生産財価格の前年比マイナス幅が縮小しているためである（図表2）。

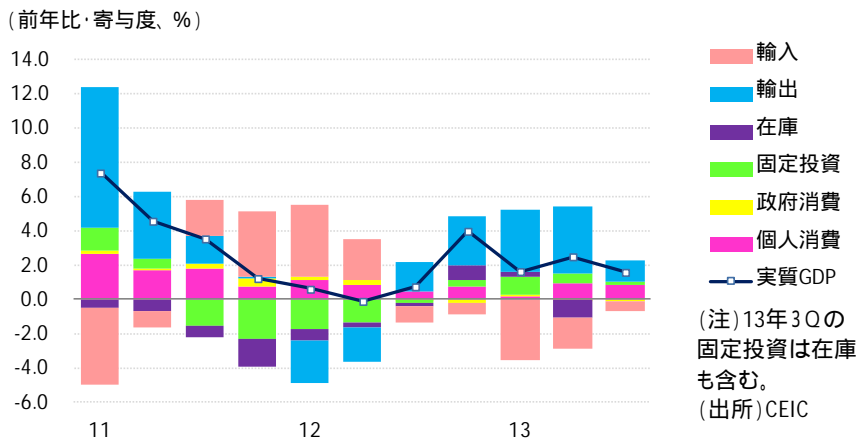
そしてその主因は製造業購買担当者指数（PMI）の新規受注指数が示すように需要が持ち直し基調にあることが大きいと見られる（図表3）。実際、生産者物価の前月比（原数値）の推移をみると、8月前月比+0.1%、9月同+0.2%とプラス幅が拡大しており（図表4）、生産者物価の前年比マイナス幅が今後さらに縮小する可能性が示唆されている。



3. 台湾経済の概況

- ・景気は持ち直し基調にあるものの、そのテンポは緩やかなものとどまっている。
- ・7-9月期の実質GDP成長率（速報値）は前年比1.6%と前期（同2.5%）から減速した。個人消費は底堅く推移（4-6月期同1.7%増 7-9月期同1.6%増）したものの、輸出の伸び率が大幅に鈍化（同5.2%増 同1.7%増）しており、世界経済の回復力の弱さが台湾経済の重石となっているようだ。
- ・9月の景気対策指標も19ポイントと前月（20ポイント）から1ポイント低下した。6月に一旦「安定」を示す「緑」信号に変わったものの、7月以降3ヶ月連続して「やや停滞」の「黄青」信号が点灯している。
- ・ただし、9月の生産は高機能モバイル機器向けの半導体需要の増加などを背景に前年比1.1%増に持ち直している。9月の輸出受注も情報通信機器を中心に同2.0%増とプラス幅が拡大しており、10-12月期の成長率は持ち直しが見込まれている。

台湾：実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移



【台湾の主要経済指標】

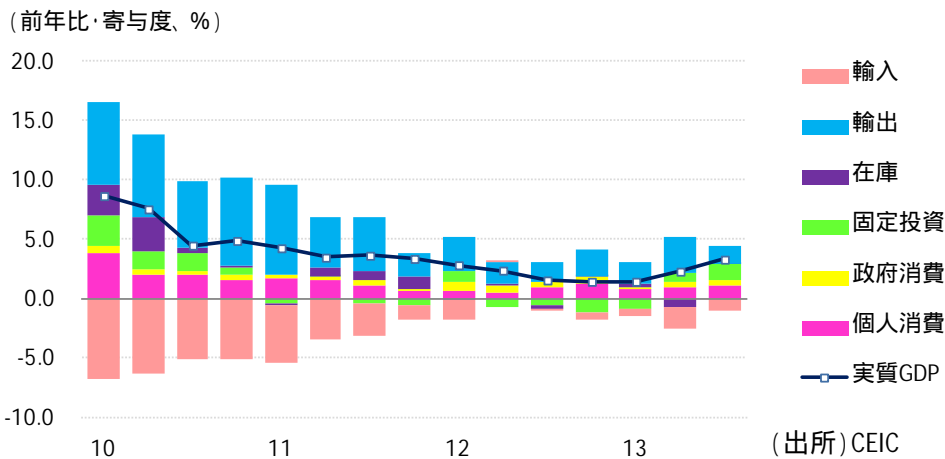
		2010年	2011年	2012年	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/8月	13/9月	13/10月
GDP (yoy)	実質GDP (前期比)				0.7	1.7	0.6	0.6	p 0.1			
	(前年比)	10.8	4.1	1.3	0.7	4.0	1.6	2.5	p 1.6			
	うち民間消費	4.0	3.1	1.5	0.9	1.5	0.3	1.7	p 1.6			
	うち総固定資本形成 (うち民間企業)	21.1	3.1	4.2	0.9	2.1	6.3	3.8	n.a.			
生産	鉱工業生産 (yoy)	24.2	4.4	0.2	1.3	4.0	1.1	0.5	0.8	0.6	1.1	
消費	卸小売販売指数 (yoy)	5.3	0.9	0.2	0.9	3.0	1.9	1.5	2.0	1.7	3.1	
貿易及び対外関連	貿易収支 (10億ドル)	23.4	26.8	30.7	8.5	10.8	4.6	9.9	10.2	4.6	2.4	3.5
	輸出 (yoy)	34.8	12.3	2.3	2.2	2.4	2.4	2.4	0.8	3.6	7.0	1.5
	輸出受注 (yoy)	26.1	7.2	1.1	1.4	7.6	1.7	1.7	1.0	0.5	2.0	
	輸入 (yoy)	44.1	12.0	3.9	3.4	0.1	4.4	3.5	3.3	1.2	0.7	2.8
	経常収支 (10億ドル)	39.9	41.2	49.9	12.0	15.9	11.1	13.8				
	外貨準備高 (10億ドル)	382	386	403	398	403	402	407	413	409	413	416
雇用	失業率 (季調値)	5.2	4.4	4.2	4.3	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	
物価	消費者物価 (yoy)	1.0	1.4	1.9	2.9	1.8	1.8	0.8	0.0	0.8	0.8	0.6
金融	M2-サプライ (M2, yoy)	5.4	4.8	3.5	3.7	3.5	3.9	5.3	5.7	5.4	5.7	
	株価指数 (加権指数)	8,973	7,072	7,700	7,715	7,700	7,919	8,062	8,174	8,022	8,174	8,450
	短期金利 (オールナイト)	0.18	0.34	0.42	0.41	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	0.39	
	為替レート (NT\$/ドル)	31.6	29.5	29.6	29.9	29.2	29.5	30.0	30.0	30.0	29.8	29.5
	為替レート (円/NT\$)	2.77	2.70	2.69	2.63	2.78	3.12	3.29	3.30	3.26	3.33	3.31

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%)、貿易統計は再輸出と再輸入を加算した新ベース。

4. 韓国経済の概況

- ・景気は持ち直し基調にある。
- ・7-9月期の実質 GDP 成長率は前年比 3.3%と前期（同 2.3%）からさらに加速した。3%台の成長率は 2011 年 10-12 月期以来 7 四半期ぶりである。前期比では 1.1%（年率換算で 4.3%）と前期（前期比 1.1%、年率 4.5%）に続き高い伸びとなった。需要項目別にみると、今期は輸出と政府消費に代わって建設を中心とした投資と消費がけん引役となった。物価の安定や金利の低下が寄与したとみられる。中銀は 2013 年の成長率見通しは 2.8%に据え置いたものの、2014 年については米国の財政問題などをはじめ先行きの不透明感が強いとして 4.0%から 3.8%に下方修正した。
- ・9 月の生産は自動車業界のストや連休による営業日数の減少から前年比 3.6%減と大幅に落ち込んだ。輸出も 9 月には営業日数減少の影響を受けて前年比 1.5%減と落ち込んだが、10 月には欧米向け輸出の大幅増加から前年比 7.3%増と持ち直した。

韓国：実質GDP成長率需要項目別寄与度の推移



【韓国の主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/8月	13/9月	13/10月
GDP (yoy)	実質 GDP (前期比) (前年比)	6.3	3.7	2.0	0.0	0.3	0.8	1.1	1.1			
	うち民間消費支出	4.4	2.4	1.7	1.7	2.7	1.5	1.8	2.2			
	うち固定資本形成	5.8	1.0	1.7	2.5	4.2	3.8	2.9	5.6			
	うち設備	25.7	3.6	1.9	6.9	5.2	11.9	4.6	1.8			
生産	鉱工業生産(yoy)	16.3	5.9	0.9	1.0	0.1	1.7	0.7	0.2	3.2	3.6	
消費	小売売上高(数量,yoy)	6.8	4.5	2.3	2.6	2.5	0.2	1.1	0.6	2.4	1.5	
貿易 及び 対外 関連	貿易収支(10億ドル)	41.2	30.8	28.3	7.5	9.9	5.7	14.3	11.0	4.8	3.7	4.9
	輸出(yoy)	28.3	19.0	1.3	5.8	0.4	0.4	0.7	2.8	7.6	1.5	7.3
	輸入(yoy)	31.6	23.3	0.9	6.9	1.1	3.0	2.7	0.1	0.9	3.6	5.1
	経常収支(10億ドル)	29.4	26.1	43.1	14.6	14.8	10.0	19.8	19.0	5.7	6.6	
雇用	失業率(季調値)	3.7	3.4	3.2	3.1	3.0	3.3	3.2	3.1	3.1	3.0	
物価	消費者物価(yoy)	2.9	4.0	2.2	1.6	1.7	1.4	1.1	1.2	1.3	0.8	0.7
金融	マネーサプライ(New M2,yoy)	6.0	5.5	4.8	5.6	4.8	4.8	4.9	4.1	4.9	4.1	
	株価指数(総合)	2,051	1,826	1,997	1,996	1,997	2,005	1,863	1,997	1,926	1,997	2,030
	CDレート(3カ月物)	2.67	3.44	3.30	3.22	2.89	2.83	2.74	2.67	2.66	2.66	2.66
	為替レート(ウォン/ドル)	1,156	1,108	1,127	1,133	1,090	1,085	1,123	1,111	1,117	1,087	1,067
	為替レート(円/100ウォン)	7.5	7.2	7.1	6.9	7.6	8.5	8.8	8.9	8.9	9.1	9.3

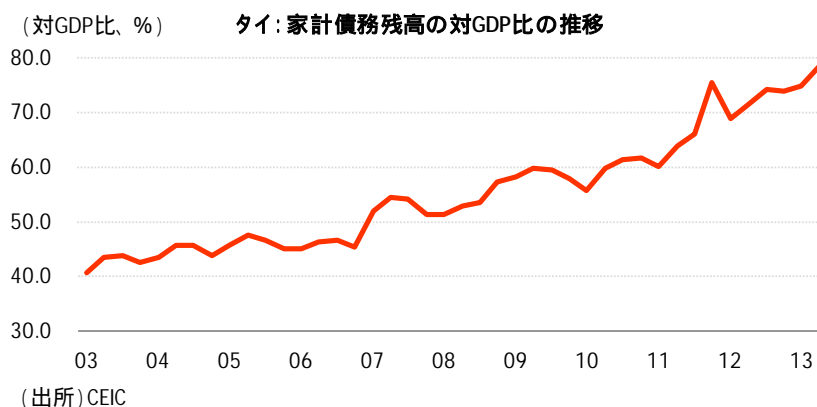
(出所) CEIC

(注) yoy = 前年比 (%)

ASEAN・インド

1. タイ経済の概況

- ・景気の拡大が一服している。
- ・9月の輸出は前年比7.1%減と鈍化した。農産品や自動車、ICなどの輸出は海外景気の持ち直しを受け堅調に拡大しているが、水産品やHDD、金属製品の輸出がそれぞれエビの疫病、需要への対応の遅れ、昨年同月の大幅増の反動などから伸び率が大幅に鈍化した。
- ・また9月の個人消費指数は前年比6.1%に鈍化した。この要因のひとつとして債務水準の高まり（6月末時点で家計の債務残高はGDP比78.5%）や景気の先行きに対する不透明感から家計が消費に慎重になっていることが指摘されている。
- ・設備投資も洪水被害からの復興投資が一段落する中で、企業が投資に慎重になっているとみられ、前年比3.3%減と低迷した。
- ・こうした中でタイ中銀は10月25日に「内外需の持ち直しが想定より遅い」ことを理由に今年の成長率見通しを7月時点の4.2%から3.7%に下方修正した。



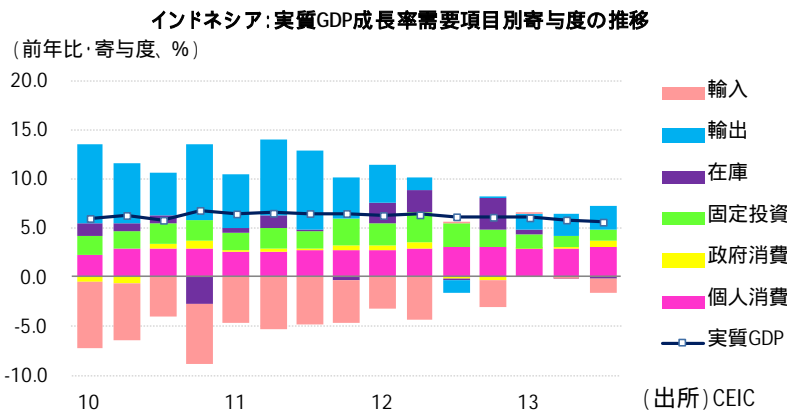
【タイの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/30	12/40	13/10	13/20	13/30	13/8月	13/9月	13/10月
GDP (yoy)	実質GDP	7.8	0.1	6.5	3.1	19.1	5.4	2.8				
	民間消費	5.1	1.3	6.8	6.8	12.4	4.2	3.0				
	総固定資本形成	9.4	3.3	13.2	15.5	22.9	5.8	4.5				
生産	製造業生産指数 (yoy)	14.2	8.5	2.2	11.1	43.4	2.9	4.9	3.6	2.8	2.9	
消費	個人消費指数 (yoy)	5.5	3.7	5.6	6.9	7.4	3.8	0.7	2.1	0.7	6.1	
投資	民間企業投資指数 (yoy)	20.1	8.9	15.4	15.7	24.2	11.5	2.7	3.8	3.4	3.3	
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	10.4	6.2	20.8	2.2	7.1	7.4	8.4	1.9	0.1	0.5	
	輸出 (yoy)	26.8	15.1	3.0	4.2	18.5	4.3	2.2	1.7	3.9	7.1	
	輸入 (yoy)	36.8	25.1	9.3	1.2	17.9	6.7	2.0	2.0	2.1	5.2	
国際収支	経常収支 (10億ドル)	10.0	4.1	1.5	0.6	1.9	1.5	6.7	0.9	1.3	0.5	
	外貨準備高 (10億ドル)	165.7	165.2	171.1	172.7	171.1	167.7	162.5	163.5	159.7	163.5	
雇用	失業率 (季調前)	1.1	0.7	0.7	0.6	0.5	0.7	0.7	0.8	0.8	0.7	0.6
物価	消費者物価 (総合, yoy)	3.3	3.8	3.0	2.9	3.2	3.1	2.3	1.7	1.6	1.4	1.5
	消費者物価 (コア, yoy)	0.9	2.4	2.1	1.8	1.8	1.5	1.0	0.7	0.8	0.6	0.6
金融	M2-M1 (broad M, yoy)	10.9	15.1	10.4	12.7	10.4	9.5	10.2	7.1	8.7	7.1	
	株価指数 (SET)	1,033	1,025	1,392	1,299	1,392	1,561	1,452	1,383	1,294	1,383	1,443
	インターバンク金利 (3M)	1.61	3.12	3.08	3.13	2.92	2.86	2.75	2.60	2.60	2.60	2.60
	為替レート (円/US\$)	31.7	30.5	31.1	31.4	30.7	29.8	29.9	31.5	31.6	31.7	31.2
	為替レート (円/JPY)	2.77	2.61	2.57	2.51	2.64	3.09	3.30	3.14	3.10	3.13	3.13

(出所)CEIC (注) yoy = 前年比 (%)

2. インドネシア経済の概況

- ・個人消費主導の安定的な成長が続いている。
- ・7-9月期の実質GDP成長率は前年比5.6%と前期(同5.8%)から0.2%ポイント鈍化した。需要項目別にみると、個人消費と政府消費はそれぞれ前年比5.5%増、同8.8%増と堅調に拡大した。賃金の引き上げ、燃料補助金削減に伴う貧困層向け補償金の支給などを通じた所得の拡大が寄与したとみられる。また投資の伸び率は同4.5%増と前期と変わらなかったが、輸出は同5.3%増と前期(同4.8%増)から加速した。こうした中で堅調な内需を背景に輸入が同3.8%増と前期(同0.5%増)から大幅に拡大し、これが成長率の引き下げにつながった格好である。
- ・消費者物価上昇率は6月に実施された燃料補助金の削減に伴う燃料価格上昇の影響から7月以降、前年比8%台で推移している。インドネシア中銀はインフレ抑制と為替安定のため、6月から9月にかけて合計1.5%ポイントの利上げを実施した(5.75%→7.25%)が、10月にはインフレ圧力の緩和と為替相場の安定から金利の据え置きを決めた。11月12日の月例会合でも引き続き、据え置きとの見方が多い。



【インドネシアの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/8月	13/9月	13/10月
GDP (yoy)	実質GDP	6.2	6.5	6.2	6.2	6.1	6.1	5.8	5.6			
	民間消費支出	4.7	4.7	5.3	5.6	5.4	5.2	5.1	5.5			
	総固定資本形成	8.5	8.8	9.8	9.8	7.3	5.5	4.5	4.5			
生産	製造業生産(yoy)	4.4	4.1	4.1	1.6	11.1	9.0	6.8	6.8	12.2	5.6	
消費	小売売上(yoy)	n.a.	9.0	14.5	16.2	17.2	10.1	12.3	7.1	2.0	4.5	6.4
輸出入	貿易収支(10億ドル)	22.2	26.1	1.7	0.5	2.7	0.2	3.1	2.9	0.1	0.7	
	輸出(yoy)	35.5	28.9	6.6	14.1	8.3	6.4	5.8	6.6	6.9	6.8	
	(除く石油ガス,yoy)	33.1	24.8	5.5	10.1	6.1	3.3	2.1	5.6	8.0	19.9	
	輸入(yoy)	40.1	30.8	8.0	2.0	4.9	0.2	3.8	0.8	5.8	0.8	
国際収支	経常収支(10億ドル)	5.1	1.7	24.4	5.3	7.8	5.8	9.8				
	外貨準備高(10億ドル)	89.8	103.4	105.3	102.6	105.3	97.5	91.6	88.9	86.0	88.9	90.1
物価	消費者物価(yoy)	5.1	5.4	4.3	4.5	4.4	5.3	5.6	8.6	8.8	8.4	8.3
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	15.4	16.4	15.0	18.3	15.0	14.0	11.8	14.5	13.3	14.5	
	株価指数(総合)	3,704	3,822	4,317	4,263	4,317	4,941	4,819	4,316	4,195	4,316	4,511
	中銀債金利(3ヵ月)	6.50	6.00	5.75	5.75	5.75	5.75	6.00	7.25	7.00	7.25	7.25
	為替レート(比ドル)	9,078	8,773	9,419	9,544	9,630	9,695	9,818	10,938	10,924	11,613	11,234
	為替レート(円/100比ア)	0.96	0.91	0.85	0.82	0.86	0.95	1.01	0.90	0.90	0.84	0.88

(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、製造業生産は2011年より新基準。

3. マレーシア、フィリピン、シンガポールの主要経済指標

【マレーシアの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/8月	13/9月	13/10月
GDP (yoy)	実質GDP	7.4	5.1	5.6	5.3	6.5	4.1	4.4	5.0			
	民間消費	6.9	6.8	7.7	8.6	6.2	7.5	7.2	8.2			
	総固定資本形成	11.9	6.2	19.9	22.3	16.0	13.1	6.0	8.6			
生産	鉱工業生産(yoy)	7.2	1.2	4.4	2.5	5.8	0.1	3.9	3.7	2.8	1.0	
消費	自動車販売台数(yoy)	12.7	0.8	4.6	2.7	12.9	13.9	4.3	11.0	1.4	19.6	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	34.1	40.6	31.1	5.5	8.8	5.3	2.7	5.7	2.2	2.7	
	輸出(yoy)	26.5	15.0	0.3	5.0	0.9	3.3	4.0	3.7	7.3	0.1	
	輸入(yoy)	33.1	14.2	4.8	3.5	4.0	5.7	4.0	3.6	8.4	2.5	
国際収支	経常収支(10億ドル)	27.1	33.5	18.6	3.1	7.5	2.8	0.8	3.0			
	外貨準備高(10億ドル)	96	120	126	124	126	127	124	124	122	124	124
雇用	失業率(%)	3.3	3.1	3.0	3.0	3.1	3.2	3.0		3.1		
物価	消費者物価(yoy)	1.7	3.2	1.7	1.4	1.3	1.5	1.8	2.2	1.9	2.6	
金融	マネーサプライ(M2,yoy)	7.2	14.7	9.7	13.2	9.7	9.7	9.0	8.0	8.6	8.0	
	株価指数(総合)	1,519	1,531	1,689	1,637	1,689	1,672	1,774	1,769	1,728	1,769	1,807
	インターバンク金利(1M,%)	2.56	2.97	3.06	3.06	3.06	3.07	3.06	3.07	3.07	3.07	
	為替レート(リンギ/ドル)	3.22	3.06	3.09	3.12	3.06	3.08	3.07	3.24	3.28	3.25	3.18
	為替レート(円/リンギ)	27.2	26.0	25.8	25.2	26.5	29.9	32.1	30.5	29.8	30.5	30.8

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、鉱工業生産は2005年基準。消費者物価は06年以降、2005年 = 100基準。

【フィリピンの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/8月	13/9月	13/10月
GDP (yoy)	実質GDP	7.6	3.6	6.8	7.3	7.1	7.7	7.5				
	民間消費支出	3.4	5.7	6.6	6.7	6.2	5.5	5.2				
	固定資本形成	19.1	2.0	10.4	10.5	19.7	15.6	9.7				
生産	鉱工業生産(yoy)	16.9	2.1	7.0	4.3	10.1	5.7	2.0	7.7	8.8	8.6	
消費	自動車販売台数(yoy)	27.2	15.9	10.6	8.5	25.3	28.9	12.2	14.1	20.7	14.8	11.4
輸出入	貿易収支(10億ドル)	3.4	12.2	10.0	2.2	3.8	2.3	1.8		1.0		
	輸出(yoy)	34.0	6.2	7.9	6.5	9.7	6.2	2.7	8.4	20.2	4.9	
	輸入(yoy)	27.5	10.1	2.7	2.6	7.5	7.4	0.1		7.0		
国際収支	経常収支(10億ドル)	8.9	7.0	7.1	2.2	2.2	3.1	2.5				
	外貨準備高(10億ドル)	62.4	75.3	83.8	82.0	83.8	83.9	81.3	83.5	82.9	83.5	83.6
雇用	失業率(%)	7.4	7.4	7.2	7.0	6.8	7.1	7.5	7.3			
物価	消費者物価(yoy)	3.8	4.7	3.2	3.6	3.0	3.2	2.6	2.4	2.1	2.7	2.9
金融	マネーサプライ(yoy)	10.6	6.3	10.6	7.5	10.6	13.3	20.5		31.1		
	株価指数(総合)	4,201	4,372	5,813	5,346	5,813	6,847	6,465	6,192	6,075	6,192	6,585
	国債(3ヵ月,%期末)	0.78	1.56	0.20	1.00	0.20	0.08	0.90	0.87	0.59	0.87	
	為替レート(ペソ/ドル)	45.1	43.3	42.2	41.9	41.2	40.7	41.8	43.7	43.9	43.8	43.2
	為替レート(円/ペソ)	1.94	1.84	1.89	1.88	1.97	2.27	2.36	2.26	2.23	2.26	2.27

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、マネーサプライは2007年までM2、2008年以降はM3。

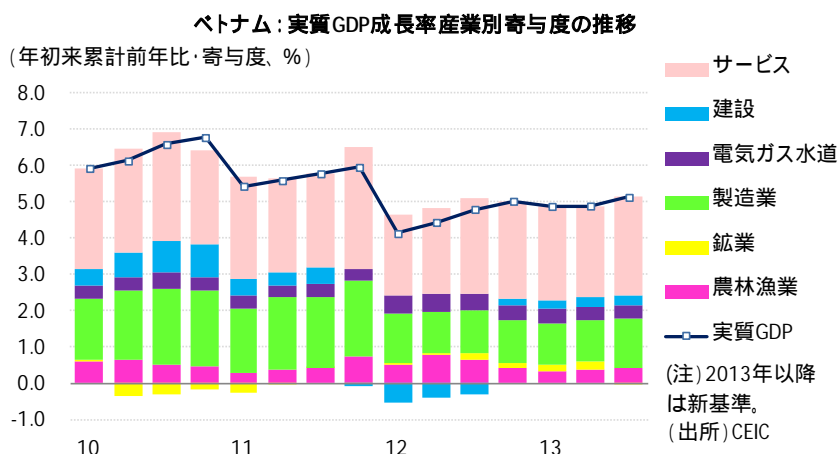
【シンガポールの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/8月	13/9月	13/10月
GDP (yoy)	実質GDP	14.8	5.2	1.3	0.0	1.5	0.2	3.8				
	民間消費	6.2	4.6	2.2	0.5	2.0	1.3	2.7				
	総固定資本形成	6.1	6.3	6.6	3.8	5.8	5.8	3.8				
生産	鉱工業生産(yoy)	29.7	7.8	0.3	1.4	0.2	6.0	1.3	5.5	4.0	9.3	
消費	小売売上金額(yoy)	0.3	9.4	3.6	1.5	1.4	4.3	0.7	7.3	7.7	5.9	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	40.8	43.8	28.6	8.7	6.1	7.2	10.5	9.3	3.1	3.6	5.4
	輸出(yoy)	30.6	16.5	0.2	5.9	0.0	6.8	1.0	4.3	1.8	6.5	9.4
	輸入(yoy)	26.7	17.7	3.9	3.0	4.9	7.4	2.8	4.1	1.0	5.9	2.7
国際収支	経常収支(10億ドル)	62.0	65.3	51.4	13.6	10.5	11.4	14.4				
	外貨準備高(10億ドル)	226	238	259	252	259	258	260	268	262	268	272
雇用	失業率(季調値,%)	2.2	2.0	1.9	1.9	1.8	1.9	2.1	1.8			
物価	消費者物価(yoy)	2.8	5.2	4.6	4.2	4.0	4.0	1.6	1.8	2.0	1.6	
金融	マネーサプライ(M2,%)	8.6	10.0	7.2	6.1	7.2	8.5	9.1	7.5	7.1	7.5	
	株価指数(ストレート)	3,190	2,646	3,167	3,060	3,167	3,308	3,150	3,168	3,029	3,168	3,211
	インターバンク金利(3M,%)	0.56	0.41	0.38	0.38	0.38	0.38	0.38	0.42	0.39	0.42	0.40
	為替レート(Sドル/ドル)	1.36	1.26	1.25	1.25	1.22	1.24	1.25	1.27	1.27	1.26	1.24
	為替レート(円/Sドル)	64.3	63.4	63.8	63.0	66.3	74.5	79.0	78.0	76.9	78.5	78.6

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比(%)、輸出入伸び率は米ドル建てベース。

4. ベトナム経済の概況

- ・ 経済活動に緩やかながら持ち直しの兆しがみえる。
- ・ 1-9月期の実質 GDP 成長率は前年比 5.1%と 1-6月期（同 4.9%）からやや持ち直した。産業別には輸出の堅調を背景に製造業が 1-9月期前年比 6.8%増（成長率寄与度 1.3%）となったほか、サービス業も商業を中心に同 6.3%増（同 2.7%）と底堅く推移した。農林漁業、建設も伸び率を高めたが、鉱業は前年比マイナスに転じた。
- ・ 輸出は電話機・同部品を中心に 10月も前年比 13.4%増（1-10月期前年比 15.2%増）と堅調に推移している。一方、輸入も生産拡大に伴う原材料などの輸入の増加から 10月には同 17.1%増（同 15.2%増）と拡大しており、9月以降、貿易収支は再び赤字基調で推移している。
- ・ 10月の消費者物価上昇率は、2012年9月以降の診療報酬引き上げの影響が一巡してきたことから、前年比 5.9%と 2012年8月以来 14ヶ月ぶりに 6%を下回った。ただし、天候要因などから足元、食料品価格の上昇が続いており、今後再びインフレが加速することが懸念されている。



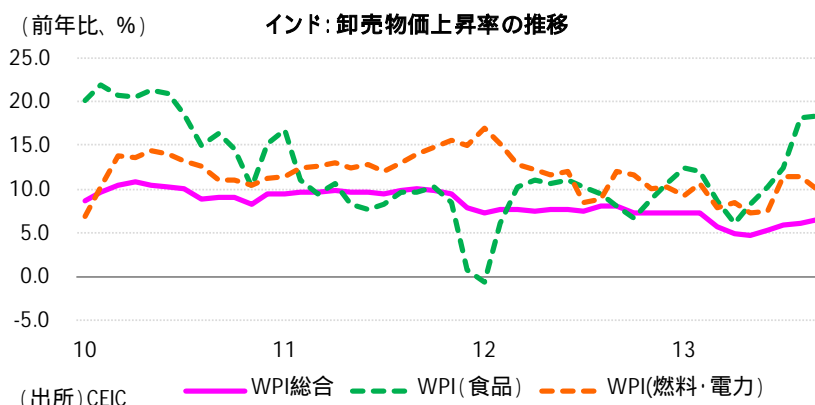
【ベトナムの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/8月	13/9月	13/10月
GDP (yoy)	実質 GDP	6.8	6.0	5.0	4.7	5.0	4.9	4.9	5.1			
	農業	2.8	4.5	2.7	2.5	2.7	2.2	2.1	2.4			
	工業・建設	8.9	4.3	4.5	4.4	4.5	4.9	5.2	5.2			
生産	鉱工業生産 (yoy)	10.7	6.7	4.8	6.7	5.2	5.5	6.3	5.7	4.4	5.6	5.9
消費 ytd	小売売上 (名目、yoy)	24.5	24.2	16.0	17.3	16.0	11.7	11.9	12.5	12.3	12.5	12.6
輸出入	貿易収支 (10億ドル)	12.1	8.9	2.0	0.8	1.0	0.1	1.2	0.9	0.6	0.1	0.2
	輸出 (yoy)	26.7	33.1	20.0	13.1	17.8	19.2	14.6	15.8	15.7	17.9	13.4
	輸入 (yoy)	21.6	24.4	7.9	6.8	7.4	20.2	18.1	15.9	10.3	21.1	17.1
国際収支	経常収支 (10億ドル)	4.3	0.2									
	外貨準備高 (10億ドル)	12.1	13.1	25.2	21.3	25.2	28.0					
物価	消費者物価 (yoy)	9.2	18.6	9.3	5.6	7.0	6.9	6.6	7.0	7.5	6.3	5.9
金融	株価指数 (VN index)	484.7	351.6	413.7	422.4	392.6	413.7	491.0	481.1	472.7	492.6	497.4
	プライムレート (翌日物・期末)	8.17	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00	9.00
	為替レート (ドン/ドル)	18,655	20,547	20,828	20,828	20,828	20,828	20,828	20,897	21,036	21,036	21,036
	為替レート (円/100ドン)	0.47	0.39	0.38	0.38	0.39	0.44	0.47	0.47	0.46	0.47	0.46

(出所) CEIC (注) yoy = 前年比 (%), ytd = 年初来累計ベース。

5. インド経済の概況

- ・内外需の低迷から低成長が続いている。
- ・8月の鉱工業生産は前年比0.6%増と7月(同2.8%増)に続き、2ヶ月連続で前年比プラスを維持した。自動車販売の低迷など消費の低迷から耐久消費財生産は2012年12月以降9ヶ月連続して前年比マイナスとなっているが、輸出が堅調なこともあり中間財などを中心に生産の一段の悪化は回避されている。
- ・9月の輸出はルピー安を背景に前年比11.2%増と堅調に増加した。一方、輸入は経常収支赤字抑制のための輸入規制により前年比18.1%減と大幅に落ち込んだ。この結果、9月の貿易収支赤字は68億ドルと30ヶ月ぶりに100億ドルを下回った。
- ・9月の卸売物価上昇率は、大雨の影響で野菜類の収量が減少し、食品価格が急騰したこと、ルピー安から輸入物価が上昇したことなどから前年比6.5%に加速した。
- ・インド準備銀行(中央銀行)は景気テコ入れのため、年初来3回利下げを行ってきたが、インフレ圧力が依然として強いとして9月(7.25%→7.50%)に続いて10月にも政策金利の引き上げ(レポ金利:7.50%→7.75%)を実施した。



【インドの主要経済指標】

		2010年	2011年	2012年	12/3Q	12/4Q	13/1Q	13/2Q	13/3Q	13/8月	13/9月	13/10月
GDP (yoy)	実質GDP	9.7	7.5	5.1	5.2	4.7	4.8	4.4				
	農業生産	6.6	5.2	2.1	1.7	1.8	1.4	2.7				
	実質GDP(年度)	9.3	6.2	5.0								
生産	鉱工業生産(yoy)	9.7	4.8	0.7	0.4	2.1	2.2	1.0		0.6		
消費	新車販売台数(yoy)	30.9	5.7	10.1	3.0	11.1	11.6	7.4	3.1	4.5	4.5	
輸出入	貿易収支(10億ドル)	123.9	161.6	194.4	48.8	56.6	45.9	50.0	29.8	10.5	6.8	
	輸出(yoy)	37.3	33.8	2.0	8.5	0.7	3.2	1.3	11.6	13.2	11.2	
	輸入(yoy)	36.2	32.6	5.8	0.7	7.5	1.9	5.3	9.0	1.6	18.1	
国際収支	経常収支(10億ドル)	52.2	62.8	91.8	21.1	31.8	18.2	21.8				
	外貨準備高(10億ドル)	267.8	262.9	261.7	260.0	261.7	259.7	254.4	248.8	247.4	248.8	
物価	卸売物価(yoy)	9.6	9.5	7.5	7.9	7.3	6.7	4.8	6.1	6.1	6.5	
	消費者物価(yoy)	12.0	9.6	9.7	9.9	10.1	10.7	9.5	9.7	9.5	9.8	
金融	マネーサプライ(M3,yoy)	18.7	16.0	11.2	13.6	11.2	13.8	12.6	12.5	11.7	12.5	13.0
	株価指数(BSE Sensitive)	20,509	15,455	19,427	18,763	19,427	18,836	19,396	19,380	18,620	19,380	21,165
	TB3ヶ月	5.51	8.06	8.41	8.17	8.17	8.07	7.45	10.99	12.02	9.69	8.60
	為替レート(ルピー/ドル)	45.8	46.9	53.6	54.7	54.5	53.8	56.8	63.5	66.6	62.8	61.4
	為替レート(円/100ルピー)	1.90	1.69	1.49	1.43	1.52	1.72	1.74	1.54	1.47	1.56	1.60

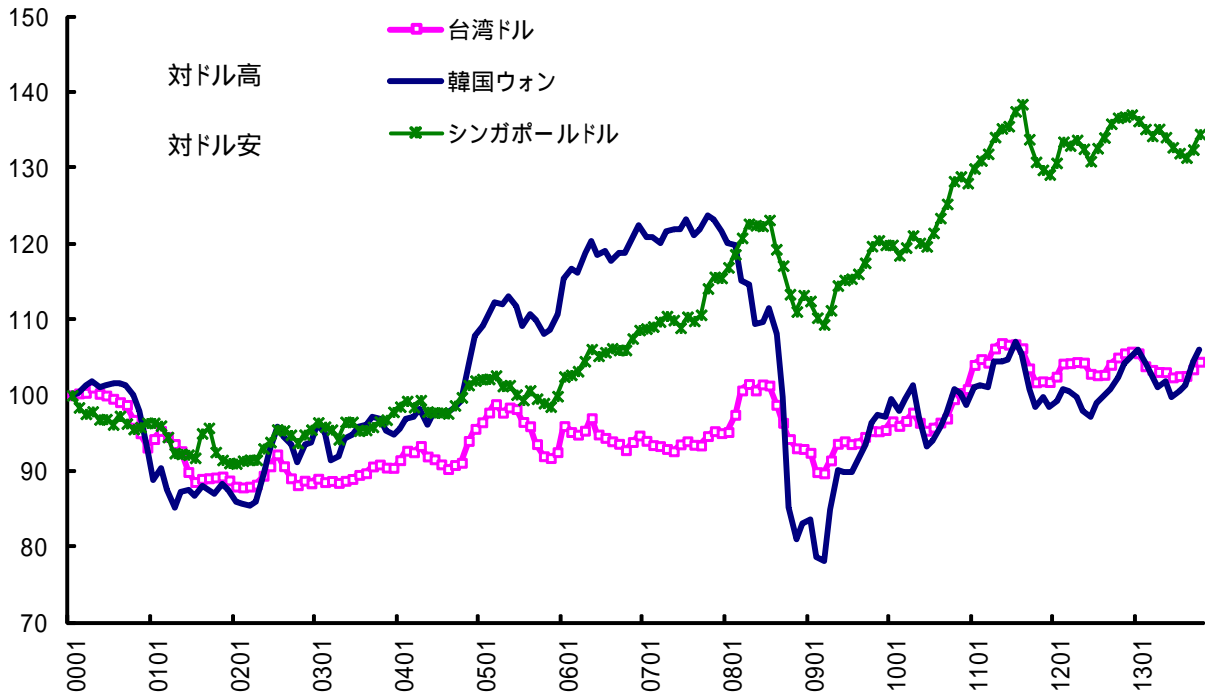
(出所)CEIC (注)yoy=前年比(%)、年度は4月から翌年3月。新車販売は乗用車に限る。消費者物価は2011年から新系列。

・アジア通貨・株価動向

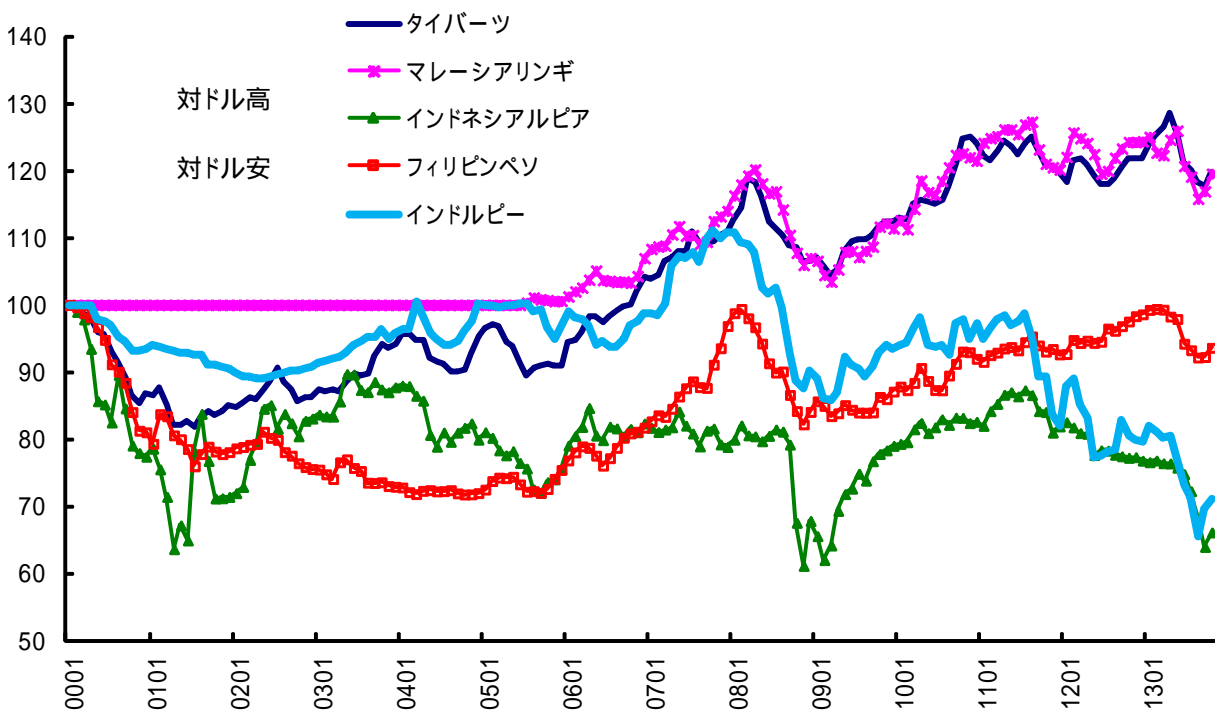
アジア通貨の対ドル相場の推移

< 2000年1月 = 100 >

(2000年1月 = 100)

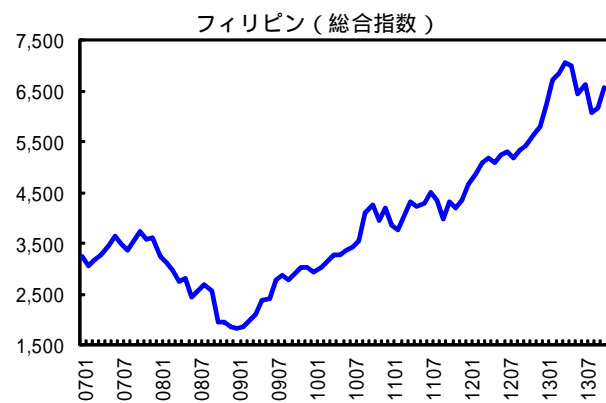
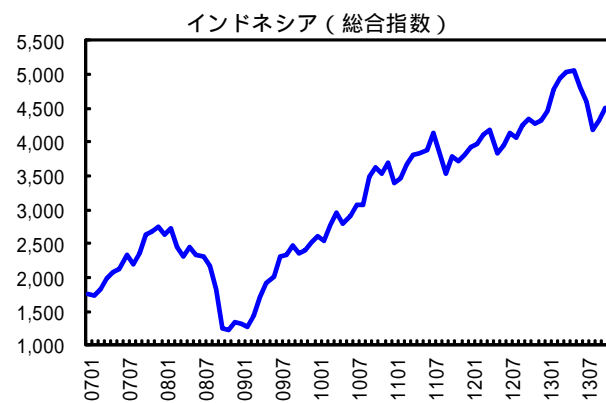
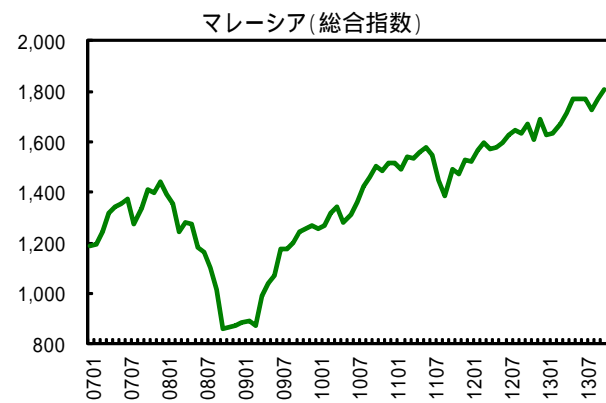
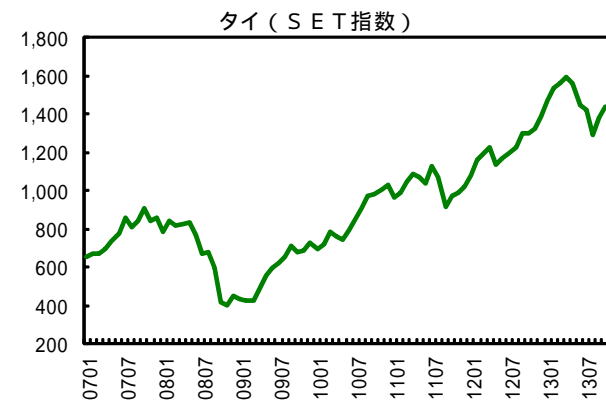
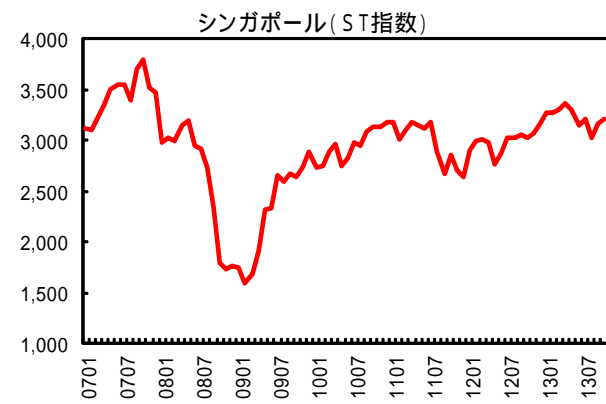
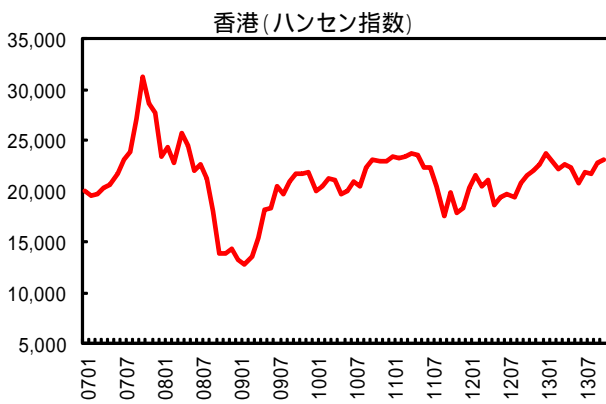
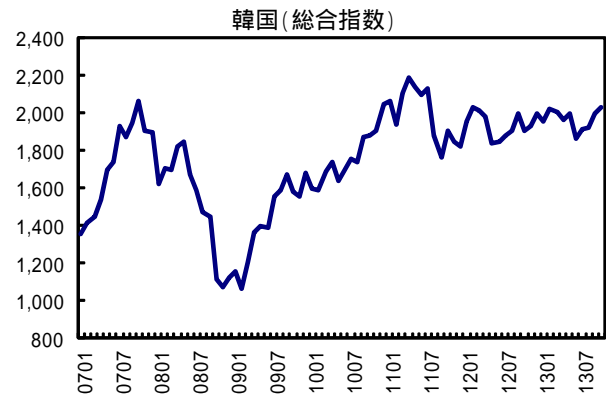
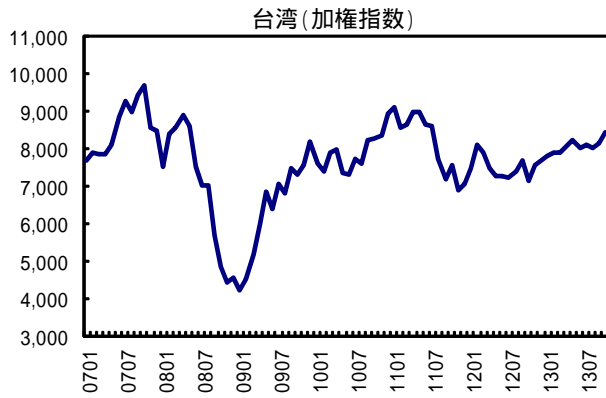


(2000年1月 = 100)



(出所) CEIC

アジア諸国の株価動向（月末値）



(出所) CEIC

- ご利用に際して -

- l 本資料は、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- l また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。
- l 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。
- l 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください。
- l 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡下さい。